

大追発

7000万円の遺産を寄付



被災地・大槌町の子供たちの「学び」を支えてくださいと、愛知県で亡くなった女性が、貯金や自宅の売却金、合わせて7000万円の遺産を

大槌町に寄付しました。寄付を行ったのは、今年5月、89歳で亡くなった愛知県豊橋市の中西豊子さんです。中西さんの遺言に基づいて豊橋市議会の議員から、碓川町長に目録が手渡されました。中西さんは大槌町の被災状況を聞き、特に子ども達の境遇を心配して、去年「遺産の全てを大槌の子ども達のために」と遺言していました。贈られた7000万円は、経済的に就学困難な町内の子供達への「奨学金」に充てられます。(10/4 ニュースエコー)

大船渡発

防災訓練

大船渡市では6日、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の地震が発生し大津波警報が発表されたとの想定で防災訓練が行われました。午前6時半になると防災行政無線から緊急地震速報が鳴り響きました。大船渡湾に面した平地区では地域の人たちが公民館に災害対策本部を設置。避難場所や避難経路の確認や、無線機で連絡をとりあい高齢者の安否確認訓練を行いました。この訓練は大船渡市内全域が対象でおよそ8000人が参加しました。(10/6 ニュース)



釜石発

防災センター解体お別れ会

おとしの震災で避難した人の多くが亡くなった釜石市の防災センターで、建物の解体を前にお別れ会が開かれました。お別れ会は鶴住居地区復興まちづくり協議会が主催、住民およそ300人が集まりました。鶴住居町出身で津波で両親を亡くした歌手の佐野よりこさんらが追悼の歌を捧げ、訪れた人たちは献花台に花を捧げ手を合わせて犠牲者の冥福を祈っていました。鶴住居地区防災センターは今月中には解体工事が始まる予定です。(10/6 ニュース)



山田発

日本と台湾の「絆」新園舎落成

津波で園舎が全壊した山田町の旧私立わかき保育園が、高台に移転新築し落成式が行われました。鉄骨造り平屋建ての新しい園舎の建設に当たっては、台湾赤十字組織に寄せられた救援金およそ1億9000万円が建設費として充てられました。落成式には、台湾赤十字組織の役員も訪れ、高台に移転した新園舎の完成を祝いました。この保育園は、日本と台湾の絆という意味で「日台きずな保育園」と名称が変更され、来月1日からは、定員も一気に倍の60人に増えて認定こども園として再スタートします。(10/7 ニュースエコー)



建設に当たっては、台湾赤十字組織に寄せられた救援金およそ1億9000万円が建設費として充てられました。落成式には、台湾赤十字組織の役員も訪れ、高台に移転した新園舎の完成を祝いました。この保育園は、日本と台湾の絆という意味で「日台きずな保育園」と名称が変更され、来月1日からは、定員も一気に倍の60人に増えて認定こども園として再スタートします。(10/7 ニュースエコー)

宮古発

シーカヤック・プレゼント



県立宮古水産高校に東京南ロータリークラブから実習用のシーカヤック12艇が贈られました。宮古水産高校は津波により校舎の一部が浸水し、施設や船に大きな被害を受け、シーカヤックも全て使えなくなりました。贈呈式の後、宮古湾で海洋技術科・海洋コースの生徒達が、早速オレンジ色や黄色のシーカヤックで海に漕ぎ出していました。今回贈られたシーカヤックは来年度から始まるマリンスポーツの科目などで活用される予定です。(10/8 ニュースエコー)

県立宮古水産高校に東京南ロータリークラブから実習用のシーカヤック12艇が贈られました。宮古水産高校は津波により校舎の一部が浸水し、施設や船に大きな被害を受け、シーカヤックも全て使えなくなりました。贈呈式の後、宮古湾で海洋技術科・海洋コースの生徒達が、早速オレンジ色や黄色のシーカヤックで海に漕ぎ出していました。今回贈られたシーカヤックは来年度から始まるマリンスポーツの科目などで活用される予定です。(10/8 ニュースエコー)

大船渡発

さんりく元気ラジオ

今週は大船渡「FMねまらいん」の田村華恵さんが、この春から登場した大船渡のゆるキャラ「おおふなトン」の活躍について伝えてくれました。先月も鎌倉に出かけ、AKB48やマイケル・ジャクソンのダンスをキレのある動きで踊り大好評だったという事で、各地で大船渡の元気を伝えているそうです。この他、豪華客船 飛鳥2の寄港についてや二戸のカシオペアFMと共同で「漁師のカキ小屋」などを取材した話などを伝えてくれました。(10/9)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122